

「くいだおれ人形」が築いた商業サインの新たなスタイルと大阪・ミナミの賑わい創出への貢献に対して  
株式会社くいだおれ：山田昌平



くいだおれ人形は、飲食店「大阪名物くいだおれ」の看板として創業間もなくお目見えし、その後は単にお店の看板としてだけでなく、大阪・ミナミのシンボルとして親しまれた。今では、この人形と並んで写真を撮ることが大阪観光の証の一つともなっており、関連グッズも開発されて定番のお土産になっている。

くいだおれ人形のデザインは、ロケーションであるミナミの伝統を汲むもので、その独特の動きはかつて盛んに行われた文楽の人形づくりを応用したものである。また、鳴り物を用いている点は、街頭宣伝で一時代を築いたチンドン屋の流れを受け継いでいる。この「立体」と「動き」は、道頓堀界隈の看板に多大な影響を与え、まさに「エンターテインメント・サイン」とも呼ぶべき道頓堀独自となる商業サインのスタイルを創出した。くいだおれ人形は、長年に渡ってこの種のサインの目標点であり続けた。

考案した創業者・山田六郎氏は、「道頓堀という街は、店に入るお客様だけでなく、道行く人にも楽しんでもらわなあかん」ということをモットーとしたが、この精神はしっかりと受け継がれ、関西空港が開港したときは一番機でフライトを決行し、また世界陸上などではたすきがけで応援するなど、時代的话题を取り入れながら常に街の賑わいづくりに貢献してきた。この度、店舗が閉店するにあたり、くいだおれ人形が築いた商業サインの新たなスタイルと大阪・ミナミの賑わい創出への貢献に対して評価がなされた。

(武山良三)